

檜山地区 教育研究大会（厚沢部大会）

- 1 目的 教育のさらなる充実，発展と新たな課題の解明に向け，各学校で積み上げた実践を交流し，互いに磨き合うとともに，学校教育を取り巻く今日的な諸課題にも目を向け，校長としての職能向上を図る。
- 2 主催 檜山校長会
- 3 後援 北海道教育庁檜山教育局・厚沢部町・檜山管内教育委員会連絡協議会
檜山管内各町教育委員会
- 4 期日 平成30年9月28日（金）・29日（土）
- 5 会場 厚沢部町（町民交流センターあゆみ）
- 6 参加者 檜山校長会 会員（30名）
- 7 日程
 - 【1日目】 9時15分 開会式
 - 10時00分 講話（檜山教育局長）
 - 11時15分 分科会
(第1「学校経営」第2「教育課程」第3「生徒指導」)
 - 15時05分 全体会（道小・道中役員による教育情勢報告）
 - 【2日目】 9時00分 学校別部会（提言発表）
 - (1) 小学校部会（第70回全連小北海道大会・第61回道小教育研究函館大会提言・今日的教育課題に係る情報交流・研究協議）
 - (2) 中学校部会（特別支援教育と校長の在り方に係る提言及び研究協議）
 - 10時50分 閉会式
- 8 学校経営上の課題別分科会
3つの学校経営上の課題別提言による研究協議を分科会形式で実施した。
 - 第1分科会「学校経営」**
『グローバル人材育成に向けた組織づくりと校長の在り方』
提言者：今金町立今金小学校長 米田 昌
 - 今金町校長会における，キャリア教育・CS導入に係りグローバルな人材の育成に向けて組織マネジメントをどのように構築していくか研究の概要や成果・課題についての提言をもとに意見交流を行った。要点として，新学習指導要領の進捗を確認するとともに，社会に開かれた教育課程の意味を再確認し，マネジメントサイクルの中で検証していくことが重要であること，教育目標の具現に係り，児童生徒の育てたい力を明確にしたビジョンの作成，ビジネス体験の具体的実践，小学校間・小中間の教育方針の共有等の重要性について認識を深めた。
 - 第2分科会「教育課程」**
『統合中学校への接続に向けた教育課程の連携・工夫・整備と校長の在り方』
提言者：厚沢部町立館小学校長 荒谷 幸恵
 - 厚沢部町校長会として，統合中学校への緩やかな接続に向けた3小学校間の連携及び統合中学校との連携に係る提言に基づいて，教育課程の統一化，教育活動の整備・工夫について，各町小中学校における小学校間及び小中間の連携の実態交流を行った。要点として，既存の連携に係る学校行事や教育活動について，実施根拠を

明確にして精選していく必要があり、学校のカリキュラム・マネジメントの工夫・改善・充実を図っていくことが重要である。CS導入が、コーディネーター等の人的な協働支援を可能にし、更に教育活動が充実すること等の認識を深めた。

第3分科会「生徒指導」

『児童生徒理解に基づき、学校全体で進める生徒指導と校長の在り方』

提言者：上ノ国町立滝沢小学校長 坂井 顕也

- 上ノ国町校長会として、生徒指導上の問題（飲酒・喫煙）に係り、これまでの統一指導の実績評価の確認、電子メディアの使用指導の概要と成果・課題についての提言をもとに、生徒指導に係る各校の実態について交流した。要点として、自己指導能力の弱さが管内の児童生徒指導上の課題であり、生徒指導提要や学習指導要領を再確認すること、集団指導・授業等の場面で様々な機会に自己教育力を高める指導が必要であることの認識を深めた。

9 道小・道中教育情勢報告

今年度半期における国及び道教委の教育行政情報について、道小・道中役員による説明・報告を通して、今後の教育の動向等についての理解・認識を深めた。

北海道中学校長会事務局会計幹事 法本 明洋 氏
北海道小学校長会研修部幹事 紺野 高裕 氏
北海道中学校長会情報部副部長 大村 浩喜 氏

主な説明情報

- (1) 新学習指導要領の実施に関わって（道徳の評価・小学校プログラミング教育）
- (2) 2019年度文科省概算要求に関わって（部活指導員増加計画・教頭補助スタッフ配置・中学校部活動指導員配置）
- (3) 全国学力・学習状況調査に関わって（「知識」と「活用」の一体化）
- (4) 学校における働き方改革に関わって（小中「閉庁日」の設定、教員不足状況）
- (5) 児童生徒の健康・安全に関わって（中高生ネット依存の実態、重いかばん対策）
- (6) 道内教育情勢に関わって（胆振東部地震教育関係施設等の被害状況、CSの増加、北海道150記念式典挙行、文教施策懇談会）

10 学校別部会

(1) 小学校部会

第70回全連小研究協議会北海道大会及び第61回道小教育研究函館大会第6分科会「健やかな体」分科会提言発表と学習指導要領移行期における教育課題の進捗について、外国語活動、道徳科、CS導入、働き方改革を視点に交流した。

- ① 外国語活動の取組について
時間数の対応については、15時間増と35時間増の2パターンがある。
町のALTとのTT指導を実施している。
- ② 道徳科について
評価については、ほとんどの学校が前後期制で記述文に留意しながら実施している。
- ③ CSの導入について
今年度よりほとんどの学校で導入しているが、学校主導からの脱却、熟議の機能などの点で課題を抱えている。
- ④ 働き方改革について
学校閉庁日は、全ての学校で3日間設定している。退勤時刻の上限を設定したり出退勤をPC管理したりするなどの学校も出てきている。

(2) 中学校部会

特別支援教育と校長の在り方についての上ノ国中学校長による提言に基づき、カリキュラム編成、指導体制、指導記録、個別の教育支援計画の整備について、現状と課題について交流した。教職員の質向上とコーディネーターの育成、関係機関との連携の強化の重要性等の課題について認識を深めた。